

## 第 77 回国民体育大会関東ブロック大会・第 53 回関東空手道選手権大会申し合わせ事項

期日 令和 4 年 8 月 27 日(土)・28 日(日)

会場 東京武道館

### 《共通事項》

1. 競技は（公財）全日本空手道連盟空手競技規定及び本大会申し合わせ事項による。
2. 赤帯・青帯は各都県で用意した全空連検定品を使用する。選手各自が用意した帯の使用も可とし、新型コロナウイルス感染予防の観点から、帯（防具等装着品のすべてを含む）の貸し借りは行わない。
3. 連続して競技する時のインターバル時間は競技時間と同じとする。（形競技の場合は 1 分間）ただし、組手競技においてコーナーが逆になる場合は 5 分間の猶予を与える。
4. 監督、コーチは競技中、定められた席に着くものとする。  
服装は大会要項に従い各都県指定の公式ジャージとする。履物はスポーツシューズまたは素足とし、審判シューズ、草履、サンダルの使用は不可とする。  
携帯電話、カメラ、かばん（ショルダーバック、ウエストポーチ等）の持ち込み不可。  
また、大会本部が発行する ID カードを携行する。
5. 選手の胸マークやゼッケンは取れないようにしっかり全周を縫い付ける。試合中に外れた場合、その試合のみ続行し、一旦退場の後は次の試合までに必ず取り付けること。複数の種目に参加するため取り付けできない場合、提示できるようにすること。
6. 少年の空手衣腕の県名表示は、高体連取り決め事項に従い了承する。
7. 女子選手において、アンダーウェア（Tシャツ）を着用する場合は白無地とするが、高校名等ワンポイントまでは認める。
8. 審判長発声による競技開始は初日及び二日目の最初だけとし、以降は各コートの主審が行う。
9. 審判員は原則ブレザー着用とする。正副審判長の同意があればブレザーを脱ぐことができる。その場合、コート長を通じて各コートへ伝達する。
10. 初戦でのテーピングの使用は認める。その場合、大会ドクターの診断に従いメディカルチェックを受け、コート長に申し出て許可を得る。メディカルカードは必ずコート長に提出する。
11. 選手・監督・コーチその他各都県スタッフは大会期間中、新型コロナ感染防止の観点からマスクの着用を義務付ける。ただし、競技中の選手のみマスクを外すことを認める。
12. 試合を終了した選手は速やかにアリーナから観客席に戻る。関係のない者はアリーナ内に絶対に入らない。アリーナ内で絶対に応援しない。

### 13. 異議申し立てについて

- ①判定について審判団に異議申し立てはできない。
- ②審判の手続きに規定違反があった場合、監督またはコーチは挙手のうえ口頭でコート主任に異議を申し立てること。
- ③異議申し立ては、手続き違反があった時に即行うこととし、次の試合に入った場合は受け付けない。

## 《組手競技》

### 1. 試合方式

- ①トーナメント方式とする。
- ②審判員は所属する都県選手の審判は行わない。
- ③組手団体戦の決勝戦、3位決定戦については、審判長と副審判長が審判団を編成する。
- ④団体戦においてチームの勝者数またポイント数が十分である場合は競技終了となる。  
※ポイント数が十分とは11ポイント差のこと。
- ⑤団体戦の競技では主審と副審をローテーションで行う。
- ⑥組手団体戦は少年の出場は可能とする。ただし、その場合のルールはシニアルールとなるので、選手起用に関しては各都県で十分に精査し、対応すること。
- ⑦VR（ビデオレビュー）は採用しない。

### 2. 試合時間

- ①試合時間はすべて2分間フルタイムとする。  
ただし、成年男子個人戦の決勝戦のみ3分間フルタイムとする。

### 3. 安全具等

- ①選手は全空連検定品の安全具を着用しなければならない。  
ただし、少年（高校生）個人組手競技においては高体連指定品の安全具を装着するものとする。  
※色付の安全具はコーナー色に準じて装着すること。逆色の安全具は認められない。
  - ニューメンホーはVI（6）、VII（7）以外は認めない。ボディプロテクターを装着する。
  - シンガード、インステップガードの装着を義務付ける。少年個人組手出場選手は白（高体連指定品）で統一する。ただし、少年選手が団体戦へ出場する場合のみ、「白」若しくは「赤・青」の双方を可とする。
  - 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、本大会はメンホーシールドの装着を義務付ける。（メーカーの指定はしない。）
  - 男子組手選手においてはファールカップの着用を義務付ける。  
ファールカップにおいては全空連指定品が存在しないため、市販品での対応とする。
  - マウスピースの使用は任意とする。

- 各種安全具について試合開始時点で装着が認められない場合、是正のため1分間の猶予が与えられる。その場合監督・コーチはコーチ席につくことはできない。選手はその間に対応できない場合は棄権となるので、十分に注意すること。
- ②コンタクトレンズの使用は選手個人の責任において認める。  
競技中（特に組手競技）に外れた場合、速やかな対応のために必ず予備を持参すること。

## 《形競技》

### 1. 試合方式

- ①審判員5名による得点方式とする。
- ②各ラウンドが終了するまで、コート長に指名された審判員が採点を行う。所属都県選手の出場であつても交代は認めない。
- ③第1ラウンド、ランキングラウンドは1名の所属都県審判員の審判団編成を認める。可能な限り所属する都県選手の審判は行わない。
- ④決勝戦、3位決定戦については、コート長が審判団を編成する。所属する都県選手の審判は行わない。

### 2. 形の指定

#### ◆ 個人形

- 第1ラウンド1は全空連第1・2指定形リストから選定しなければならない。
- ランキングラウンドは全空連第1・2指定形、全空連得意形リストから選定できる。ただし、第1ラウンドで使用した形は選定できない。
- 3位決定戦、決勝戦は全空連第1・2指定形、全空連得意形リストから選定できる。ただし、第1ラウンド、ランキングラウンドで使用した形は選定できない。

#### ◆ 団体形

- 第1ラウンド、ランキングラウンドは全空連第1・2指定形リストから選定しなければならない。（同じ形の繰り返し可）
- 3位決定戦、決勝戦は全空連第1・2指定形、全空連得意形リストから選定できる。第1ラウンド、ランキングラウンドで使用した形からも選定できる。
- 3位決定戦、決勝戦における形の分解は行わない。